

わーるど

第37号
2013. 10. 1

ようこそ 稲美町へ



アン (ベトナム) パーン (タイ) ハン (ベトナム) スタニ (ブルガリア) ギガ (ブラジル) エリック (ブラジル) ニキタ (ベラルーシ)

ダル (インド) アルダ (インドネシア) デビ (インドネシア) アイ (トルコ) セン (中国)

今年も8月10日から8月17日までの8日間9ヵ国12人の留学生が稲美町にやってきました。

異文化理解講座

第2回異文化理解講座

秋の昼下がりに、中国楽器『古箏』の音色と一緒に聞きませんか？

『古箏』にまつわるお話や、中国と日本の文化のお話を聞いて二つの国のつながりを感じてみませんか？

と き：11月10日（日）13：30～15：30

ところ：コミュニティセンターホール（役場4F）

参加費：会員無料 非会員200円

中国菓子と中国茶をご用意しています。

多数のご参加をお待ちしております。

第1部

中国楽器『古箏』の紹介と演奏

講師：馬駿さん

第2部

講演『中国文化と日本文化とのつながりについて』

講師：包雁民さん

後半の事業予定

日本語講師支援事業 10月～平成26年2月
ニューイヤーパーティー 平成26年1月

平成25年度 稲美町国際交流協会 団体・法人会員（順不同）

赤松機器工業(株)
NOBBY FARM
松田測量登記事務所
(株)アシス
いなみマイマイ工房
イナミスポーツ
(株)稲美乳販
医療法人社団 辰巳歯科医院
上野鋼業(株)
まねき食品(株)
天理教加古大教会
医療法人社団 奉仕会本部
ファッションショップ モリ
植田住地K.K

美食酒房 食うたりや
(株)コスモ
広田鉄工(株)
キング醸造(株)
(株)コカジ技研
パン・ド・ミ
六甲バター(株) 稲美工場
医療法人社団 奉仕会 大西整形外科
カフェテラス 花の樹
Big mama 大村農園
フジワラ
日の出福祉会本部
珈琲館 クレヨン

今年度も引き続いて、ご支援ご協力賜ります様
よろしくお願い致します。

【わーるどクイズ⑧の答え】

“ぶさいく”と言う

“かわいい”と言うと悪いお化けに連れていかれると
言われている。

編集後記

今年もふれあい交流“いなみ野の里”を無事に終えることができました。理事になって日の浅い私にとって緊張の8日間でしたが、留学生、ホストファミリーの皆様より「楽しかった」「ありがとう」「帰りたい」といった感想をいただき胸を熱くしております。ホームステイ事業に御協力、御支援いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。今後とも、当協会の活動に御支援よろしくお願いいたします。（1）

子ども英語サマーキャンプ

2013年8月4日（日）三木ホースランドパークにおいて、高砂市、播磨町と共催で子ども英語サマーキャンプを開催しました。



ふだんはできない体験がたくさんできました。知らない人と仲良くなったことも良かったです。年れいも関係なく、住んでいる国も関係なくすごせたのがいいところです。（K.A）

国際交流茶会

2013年7月14日（日）、万葉の森憩いの館にて国際交流茶会を開催しました。（社）茶道裏千家淡交会東播支部東播青年部との共催）3回目となります今回は、中国人1名、ラオス人3名、パキスタン人1名を含む16名の方に参加頂きました。中には浴衣姿の方もいらっしや、お茶会に華をそえてくださいました。お茶会を通じて、日本文化の美しさやおもしろさを少しでも感じて頂けたならとても嬉しいです。



料理教室

2013年5月25日（日）、いきがい創造センター調理室において、エメラルド・ユングさん指導のもと、外国料理教室を開催しました。今回は中国料理4品を教えて頂きました。

MENU

- ・十香如意菜
- ・紅焼獅子頭
- ・茸豌豆米
- ・芝麻湯圓



8月16日 (金) ふれあい料理教室



がんばりました

留学生はとても素直で、和食が好きだとよこんでくれたので良かったです。折紙も意外とすんなりと出来、こちらがおどろきでした。(ヘルスの会)

なますなどの小さく細く切るのも卵焼きもむずかしいのに大変上手に作って感心しました。大変楽しい1日でした。(ヘルスの会)

アン

自分で料理を作るだけだからこれはとても楽しかったです。そして、食べ物はおいしかった。おりがみも楽しくて、おもしろかったです。

8月16日 (金) ふれあい交流会



色々の国の知らなかった事にふれ、いい経験が出来ました。皆さんの日本語が上手なのにおどろきました。(廣岡 加代子)

ぼくは、留学生たちと交流して感じたことは知らぬ間に絆が深まっていたことです。

(米澤 彰英)

デビ

ほかのHost Familyと交流できたし、食べ物はとてもおいしかったです。最後の交流だから、さみしく感じたけど、この思い出ぜったい忘れない。

8月17日 (土) お別れ会



あっという間の8日間でした

8月13日 (火) 万葉茶会



上手にできました。ピース!

私と少ししか年齢もかわらないのに、一人一人しっかりとした目標をもって日本にきていました。私も、自分のやりたいことを見つけたい、と思いました。

(井上 依子)

日本の文化を伝えることは難しいですが、少しでも分かっていたみたいで良かったです。これからも、おもてなしをする心を忘れずに日々おけいこをして、もっと学んでいきたいです。

(舛形 紗英)

アイ

みなさんいろいろおしゃべりできて本当に楽しかったです。みんなやさしくて、私たちに日本文化を教えるために頑張りました。本当にこんな暑い日々なのに、そして、夏休みなのに、わざわざ私たちのため来てくださって、ありがたいです。

8月14日 (水) 姫路城見学



完成したらもう一度来ます

ハン

歴史はとてもおもしろいものと思った。私は昔の日本人の敵を防ぐための工夫はすばらしいものと思った。

8月14日 (水) 座禅体験



タイでは赤ちゃんが生まれたときに、どんな言葉をかけるでしょうか。

楽しかった8日間

8月12日 (月) 中学生交流



うまくできるかな?

ほとんどの留学生が4ヶ国ぐらいの言葉を話せていたので、本当にすごいと思いました。僕も大学生になったら外国の文化を学んだり、言葉を話せるようになりたいと思いました。(3年3組 松崎 賢大)

習字ではインドネシアの方とカタカナ、当て字を書きました。苦手と言いつつも、すごく上手で、楽しそうに書かれていたので、私もほっこりとした気持ちになれました。留学生のみなさんが笑顔で楽しそうに過ごされていたので、準備をしてきたかいがあったなと思いました。

(3年2組 中村 愛実)

ダル

中学生と一緒にジャンケンポをやって自己紹介した。後で皆と一緒に習字とたこやきの体験しました。皆と色々話せて嬉しかったです。

8月13日 (火) 老人クラブ交流



ステキなうちわができました

来日後4ヶ月ぐらいで日本語の会話がしっかりできていました。彼等の行末に輝かしさを想像いたします。

(山口 哲夫)

とても日本語が上手で感心しました。皆さん、ものおじせず、誰とでも話をし、さすがだなと思いました。楽しい半日でした。

(小林 紀世子)

ギガ

うちわを作ったり、昔遊びをしたり、全てがもの凄く面白かった。皆の説明のおかげでこまも初めてできたので、本当にうれしかった。

8月10日 (土) 対面式・歓迎会



どうぞよろしく

パーン

暑そうだったけど、演技に心を奪われました。それに、ホストファミリーはやさしそうだから、胸が躍りました。

8月12日 (月) 小学生交流



ケン玉って難しいね

日本のいろいろな遊びを知ってもらえてよかった。また、来てくれた人達が国のことを教えてくれたので良かったし、楽しかったです。夏休みの思い出の一つです。

(5年1組 大谷 瑠菜)

ぼくは、たいこで教えるのはむずかしいと思ってたけど留学生さんたちはすぐ覚えてすごいと思った。いろいろの国の人たちに食べものや場所などを教えてくれたので勉強にもなったし楽しかったです。

(5年2組 西川 泰生)

ニキタ

子供たちと日本の伝統的なゲームで遊びました。それはすごく楽しかったと思います。子供たちはとても元気でうれしかった。

ふれあい交流 “いなみ野の里” 留学生とホストファミリーの8日間 その1

スタニ（ブルガリア）

日本で一番おもしろかった経験

ふれあい交流“いなみ野の里”というプログラムは私にとって日本で一番おもしろかった経験の一つです。稲美町の一週間は日本の文化や習慣などについて色々理解できるようになり、日本語でもっと自由に話せるようになりました。ホストファミリーのお母さんが料理をしているときに、私はいつもそばにいたので、色々な伝統的な料理の作り方もわかりました。日本の学校が見学できたのも本当に良かったと思います。老人クラブも楽しかったです。うちわに絵を描くことも大好きでした。このプログラムに参加して本当に良かったと思います。様々なイベントの計画を立てたり、私と一緒に参加した皆さん、誠にありがとうございました。



宮本真ファミリー

楽しかった八日間

スタニ君は、ブルガリアからやってきた20歳の青年です。「日本人の考え方」に興味があるとのことで、沢山の質問をしてきました。私達もブルガリアについては、ヨーグルトと琴欧洲関ぐらいの知識しかありませんでしたが、スタニ君の話から、ブルガリアはバラと自然の美しいとても素敵な国だということを知りました。スタニ君は料理が好きなので、夕食はいつも一緒に作りました。片言での会話でも心は十分に通じた楽しい八日間でした。（宮本純子）

ギガ（ブラジル）

僕は「義我」

この1週間で色々な経験があったのに、もの凄く早く感じた。小学校、中学校、老人クラブ、茶道、姫路城、料理会、交流会、本当に面白いことばかりして、日本人と話し合っ、日本文化と日本人の考え方について沢山習った気がする。ホストファミリーとブラジルと同様1日中BBQをしたり、話したりするのは、すごくなつかしい感じだった。それに消防署へ連れてもらって、救助工作車の装置について詳しい説明を聞いたり、梯子車に乗らせてもらったり、45mまでずっと伸びて、本当に本当に良かった。明石大橋にも行って、人と防災未来センターへ行った。皆が消防士になりたがった理由は少し分かったと思う。ホストファミリーの皆はいつでもすごく元気で、優しく、素晴らしいお仕事をやって、積極的な人ばかり、本当にそれ以外望むことはない。心からありがとうございました。



井上ファミリー

ブラジルから来た「野原之義我」

ブラジルから来たギガは、難しい漢字が好きな18歳。本名の名字にあたる部分を日本語にすると「野原」という意味になるらしく、中学生につけてもらった当て字の「義我」もすごく気に入った様子。これからは「野原之義我」と呼んでほしいとか…。そんなユニークなギガと過ごす1週間はあっという間に過ぎていきました。ギガ、楽しい時間をありがとう！またいつでも帰ってきてね！そしていつかはブラジルに招待してね！笑（井上奈緒）

セン（中国）

稲美町、ありがとう！

今回のホームステイは私の初体験で、楽しかった。稲美町はいろいろな交流チャンスと日本の伝統文化を体験する活動を作っていたので、充実した一週間を過ごした。稲美町の子供、中学生、高校生、そして老人たちは親切に日本の古い遊びゲーム、団扇作り、茶道、華道など教えていただいて、日本文化の魅力をもっと詳しく知ることになった。

そして、私のホームステイの大向家族は孫文記念館、神戸中華街などいろいろのところに連れてくださって、楽しい思い出をたくさん作った。いろいろの話を通して、同文同種の日中両国はもっと理解を増加して、仲良くなれることを強く願っている。

一週間の体験はずっと心の中に大切に、稲美町の人々の親切を絶対忘れない。いつか稲美町の人に再会することを楽しみにしている。

稲美町のみんな、ありがとう！



大向ファミリー

センさんが教えてくれたこと

中国からの留学生、センさんを受け入れました。この時期に中国の方と交流できる機会を持てたことは、本当に有意義だったと思います。

甲子園、有馬温泉、孫文記念館などフリー・タイムを利用して出かけました。8月15日に南京町で豚まんを食べながら共に過ごした時間は感慨深いものがありました。

語り合い、理解を深め、互いを思いやるよう努力すること。これが平和への第一歩だと痛感しました。市民レベルの交流がもっと盛んになるよう切に願います。

（大向佐都子）

エリック（ブラジル）

田舎で1週間楽しんでいる

稲美野の里の前に、そのホームステイはそんな素晴らしいのを知らなかった。最初の日、暖かい歓迎されて、それから田舎の命を知り合ったり、人々と面白く交流したりした。私とファミリーと美味しい料理を作って、綺麗な所へ行って、幸せを分け合った。稲美は私の心にあって、その想いを永遠まで思い出にしたい。



藤本ファミリー

二人の留学生

二年前にミャンマーのミャテーヌが我が家に初めて来た。今年の四月より日本の富士通に入社し夏季休暇を使って遊びに来た。今回ブラジルのエリック君だ。笑顔が素敵な探究心のある若者である。お互いの家庭や大学と学生寮や会社そして稲美町で交流した事、さらに自分達の将来について話は尽きない…

私達の家族も多くを学んだ充実した一週間であった。ありがとう留学生。（藤本春巳）

ダル（インド）

ふれあい交流

今日まで日本の色々なこと例えば、茶道、華道、和食を作ること、姫路城を見て来た。このホームステイで人生ではじめて華道体験できたので嬉しかった。私のホストファミリーもやさしくてインドについて色々聞いてくれた。ホストファミリーと一緒にいながら日本の風習または普通の日本人の生活のことがわかった。ホストファミリーは私のこと自分の家族の一人として扱ってくれた。後スタッフの皆も私達留学生とたくさん話してくれて、冗談やら日本について勉強になることや色々話してくれた。この一週間はあっという間だったが人生の忘れられない経験になった。



船岡ファミリー

ようこそ我が家へ

今年で4回目の受け入れとなり、インドのダルシャニさんが我が家へ。ダルシャニさんは礼儀正しい子供好きの優しい学生さんでした。小学1年の娘もすぐに懐き、食後はカルタや百人一首をしたり、インドの生活や文化、流行など日本との違いや共通点などいろいろ話したりして過ごしました。中でも娘は、インドの小学生は皆1×1から20×20を暗唱して30×30まで言う人もいると聞き驚いておりました。娘にとっても、この1週間はいろんな国の人と出会い、相手の国の事を知りたいと本を開いたり、世界に関心を持つことの出来る貴重な体験をさせて頂きました。本当にありがとうございました。

（船岡実希）

ニキタ（ベラルーシ）

私のいなみ野の里について思い出

いなみ野の里で過ごした時間は本当に楽しくて、おもしろかったです。私のホストファミリー、廣田家族はとても親切で、優しい人たちです。最初私はとても恥ずかしかったです。でも、早くなれました。だから大阪へ帰りたくない。一週間イベントがたくさんあったからすごく忙しかったです。老人クラブでは留学生たちは日本のおばあさんとおじいさんに会いました。うちわに絵を描いて、日本の伝統的なゲームをして、たくさん話しました。おばあさんとおじいさんにプレゼントをもらいました。私はめちゃうれしかったです。とても楽しい時間ありがとうございました。

キズナをより深く

出会いがあれば、別れがあるのが世の常ですが、ベラルーシからの“ニキタ”と過ごした一週間は、あっという間に過ぎ行き、今はやれやれという思いと楽しかった日々が懐かしく、本当にわが子が一人増えたようでした。ポーランドの東の国からの礼儀正しい好青年は、すぐに私たち家族に溶け込み、日々の犬の散歩もお墓参りも行きたいと言ってくれ、又夜遅くまで話をしました。8/15が終戦記念日の話から、ベラルーシの東ドイツからの独立記念日は7/3で、ポーランドやリトアニア、ロシアにも併合されていた時期があったとか。春江一也の「プラハの春」とイメージが重なり、世界には、私たちに知らない様々な国と歴史があるのだなと思いました。でも直に話し、ふれあってみると、同じ一人の人間、どこの国の人でも心は通じるのだなと感動しました。今回の貴重な体験をさせて頂きましたことに、本当に感謝しております。今後、一層キズナを深めていきたいと思っています。有難うございました。（廣田雅美）



ふれあい交流 “いなみ野の里” 留学生とホストファミリーの8日間 その2

パーン(タイ)

忘れられない夏休み

このプログラムの報告をもらって、僕は心が弾みました。初日は幕開けにびっくりしました。ホストファミリーは優しく、すごかったです。バーベキューをしたり、流星を見たり、旅行したりいろいろなことをしました。たのしかったです。いなみ野の里の活動も面白かったです。たくさんの日本人と友達になりました。感想文が多いのに、大丈夫…かな、と思いました。今年の夏休みはきっと忘れられません。



竹元ファミリー

楽しかった1週間

初めてこのプログラムに申し込み、我が家にタイのパーン君がやって来ました。息子は会ってすぐにお兄ちゃんが出来たと喜び、毎朝部屋に起こしに行ったり、出かける時はずっと隣にいました。毎日色々な行事に参加して疲れているはずなのに、毎晩遅くまでタイの事や日本との違いについて沢山話してくれた時間はとても楽しかったです。

彼の優しく明るい人柄のお陰で私達も最高の夏の思い出が出来ました。

(竹元圭)

デビ(インドネシア)

夏休の最高体験

実は最初、このプログラムに参加するか京都の大文字を見るかとてもよっていました。しかし、結局このプログラムに参加することにしました。最初の日から7日間まで、いろいろな体験をしました。小・中学校の交流、生け花と茶道体験、老人クラブと座禅をしたのがすべていい体験でした。私は米澤家族といっしょに過ごした時間はぜったい忘れられません。いっしょに花火を見ること、おじいちゃん、おばあちゃんの家で遊ぶこと、リサイクルセンター、いっしょに真夜中に流星を見るのがとてもたのしかったです。日本であたらしい家族ができた感じがします。心の中では、ほんとうにあふれる感謝の気持ちで、この家族と会えてよかったとほんとうに思っています。いつかまた日本に戻ったら、かならずもう一度稲美町のみんなと会いたいです。このプログラムの参加者、そして米澤家族、いろいろお世話になりました。ありがとうございました。



米澤ファミリー

大切な出会い

インドネシアから来たデビちゃんは日本語がペラペラで見た目もマルで日本人。洗い物を手伝ってくれたり、荷物を運んでくれたり、気配りの出来る優しい女の子。通常4人家族の我が家が7人家族に大変身！雑魚寝生活で一気に距離が縮まり、息子達とは人生ゲーム・カラオケ・野球応援と密接に係わってくれました。彼女から素敵な似顔絵のプレゼント。たった七日間ですが、心の交流が図れ家族がまた一人増えました。大切な出会いに感謝！

(米澤陽子)

アイ(トルコ)

大事な宝物

1週間は、あっというまに終わってしまいました。1日目は本当にわくわくしていました。初めて家に入ってから、もうこの家の娘だよ、何でも言いたいことあったら、いつでもいいから言ってねと言われて、とてもうれしくなりました。もう日本で家族ができました。お母さんもお父さんも私のことちゃんと考えてくれたり、自分の娘のようにいろいろしてくれました。

稲美町はとても素敵なところで、稲美町の人々もとてもいい人で、もしもう一回日本に来ることがあったら、絶対に稲美町に来たいです。このみなさんともう一回お会いしたいです。その時まで私たちのことを忘れないでください。

私たち、これからも自分の国と日本の掛け橋になるために頑張ります。そして、その時、大変なこととかいろいろ困ることがあると思いますが、そんな時こそ、ここでのとても楽しい日々を思い出して、もっともっと強くなりたいです。

本当に心から感謝しています。ありがとうございます。



宮本にファミリー

トルコからアイちゃん

今年はトルコからアイちゃんという女の子がやってきました。剣道をやり、弓道や和太鼓などもたしなみ、日本語もとても流暢で、特に日本の古文が好きだという。すごいね、と驚いていると、アイちゃんは「苦しんでやっけるわけではなく、楽しんでやるからできる！」ととても前向きだ。老人クラブでコマをいただいた夜は、BBQで集まっていたおじいちゃんたちに、コマのまわし方を熱心に聞き、何回もコツをつかむまでまわしていました。そして、「次の段階はどうすればいいですか？」なるほど色々習得していくはずだ、とみんな感心していました。昼間色々たくさんの行事に参加して疲れているかな、という心配は彼女には全く無用で、夜はほぼ毎日、百人一首大会！終わった後も百人一首の本を読み、日ごとに取る枚数を増やしていきました。彼女の積極的な姿勢に私たちもとてもパワーをもらいました。アイちゃんは日本とトルコをつなぐ天使です。我が家に来てくれてありがとう。

(宮本泰江)

アルダ(インドネシア)

新しい家族と故郷

最初は、「いなみ野の里」のプログラムに参加するかどうか迷っていた。しかし、結局、このプログラムに参加することを決めた。

今気づいたのは、このプログラムに参加してとても良かったということだ。一週間で、色々な面白い活動に参加したり、様々な人とたくさん交流ができた、とても大切な経験になった。

しかし、何よりも大切なのは、新しい家族と故郷を見つけたことだ。皆さんのおかげで、この一週間は一生忘れられない思い出になった。



小山ファミリー

もう1人のお姉ちゃん

今年の夏私たちの家はインドネシア人のアルダを受け入れました。毎年の事です。最初は少し不安もありました。ですが、最初の歓迎会で会って不安も無くなりました。とても明るくて親しみやすい子で、アルダが来てからお姉ちゃんがもう一人増えたみたいで毎日とても楽しかったです。これからもアルダとは連絡をとりあっていきたいと思います。今夏最高の思い出でした。ありがとうございます。

(小山如月)

ハン(ベトナム)

一番楽しかった一週間

私の一番ホームステイへ行って、よかったと思うことは日本人の親切さだ。最初の日役場に着いた時、たくさんの子供たちが暑い環境の中でも、心から私たちを迎えてくれたことに感動した。ホームステイ先の方のおかげで、さまざまな勉強になった。いろいろな所へ連れて行ってきて、いろいろな日本の文化についてお話をしてもらったので、それはとても役立ったと思う。私の家族と稲美町の人々、ボランティアの方々、ありがとうございました。これから、がんばります。



山本ファミリー

この夏最高の思い出～8日間の兄弟～

私達家族にとって初めての体験で、最初は緊張しましたが、日本語が上手な学生でしたので助かりました。息子(小6)もお手伝いをすすんでする様子も伺えましたし、一緒に本を読んだり故郷の歌を練習したり楽しい時間を過ごすうちに兄弟の様な気持ちになったようで一人っ子の息子は、「兄弟がいる子達はこんな気持ちなんかな？」とうれしそうに話す場面が印象的でした。この様な機会を与え、支えてくださった方々に、感謝の気持ちでいっぱいです。

(山本俊雄)

アン(ベトナム)

楽しかった稲美町

この一週間は楽しかった。皆はとても優しくあった。毎日、私は日本文化を習いました。茶道はちょっとたいへんですが、お茶はとてもおいしかった。姫路城、さすが日本の世界遺産、とてもきれいでした。私のホストファミリーは優しく楽しかったです。毎日遊びました。いろいろなところへ行きました。とても楽しかった。このプログラムに参加して、私は本当に良かった。もっと日本の文化を習いたいです。また稲美町へ来たいです。



池田ファミリー

ようこそアン君！

今年はベトナムのアン君が我が家の一員になりました。

たった4ヶ月の学習で日本語を上手に操る彼は、アニメが大好きで、たくさんの日本アニメを観て覚えたというので、驚きました。そのおかげか子供ともすぐに意気投合して、昔遊びやサッカー、時には約190cmの高身長を生かして息子たちの遊び相手をしてくれたりと、面白く優しい素敵なお兄ちゃんでした。この8日間の思い出は私たちの宝物です、ありがとう！

(池田巴)

一期一会の出会いに感謝!!